

グランドグランドファイナルを直前に控え、本誌は Perth Glory の監督とキープレーヤーにインタビューした。



Perth Glory 監督

Jamie Harwell

—優勝トロフィーをパースにもたらす初めての挑戦となりますが、今のお気持ちは？

「女子も男子もともに、パースに優勝をもたらす初めてを試みとなるので、今は本当に楽しみです」

—リーグ戦では2敗しかしていませんが、決勝を戦うキャンベラはそのうちの1敗を記したチームですね。決勝の相手となるその Canberra United との試合について、戦術も含めてどのように考えていますか？

「難しい試合になると思います。」

Canberra United は、とても統率の取れた、バランスの良いチームですが、泣いても笑ってもあと1試合。攻撃を重視して、Perth Glory の攻める時間帯が長くなれば、勝機はあると思っています」

—決勝の舞台で、選手たちには何と言ってピッチへ送り出しますか？

「全ての力を出し切る。後悔だけは絶対にしないように」と言うつもりです」

—本誌読者へメッセージを。

「まずは、パースに優勝の二文字を打ち立てたいと思います。応援、宜しくお願いします。そして、来シーズン以降、ぜひスタジアムに足を運んで、試合を観に来て下さい。スピーディでテクニカルな試合に驚かれると思います。女子の試合を観たことのない人は特に。ぜひ、スタジアムでお会いしましょう」



Perth Glory MF

Collette McCallum

—グローリーにとって初のグランドファイナルとなりますが、選手として、キャプテンとして、今のお気持ちは？

「選手として、キャプテンとしての違いは特にありませんが、パースという地域にとっては、やっとのことで辿り着いた、といった想いがあると思います。今は、興奮していますね」

—今年のチームは、去年のチームと何が違いますか？

「多くの選手が入り替わりました。地元出身の選手もです。個人的には、昨シーズンはけがに泣きましたので…。」

—地元ファンの前でのグランドファイナルとなりますが、ファンや本誌読者に一言、お願いします。

「今シーズンも応援してくれたファンに感謝し、迎えるグランドファイナルでは最高の形で終わられるよう最善を尽くしたいと思います」



Perth Glory DF

Shelina Zadorsky

—カナダから外国人選手として8月にパースにいられましたね。カナダとの文化の違いのようなものはありましたか？

「驚いたことに、特に感じませんでした。人は優しいし、リラックスした雰囲気も似ていて、居心地も良かったです。言語も一緒にし、食べ物も美味しい。気候も良いので！」

—オーストラリアとカナダのサッカーの違いはありますか？

「こちらも、とても似ていると思います。上位常連国のアメリカを目標に競い合っているところも似ているかと思えます」

—今シーズン、全試合に出場していますが、グランドファイナルへの意気込みをお聞かせ下さい。そして、将来の目標は？

「いいシーズンを過ごせ、またグランドファイナルまで進めたのは、チームに関わる全ての人のおかげでもあります。今は、その決勝戦がとっても待ち遠しいです。将来の目標は、もっと(カナダ)代表で経験を積みたいです。そして、今回のオーストラリアのように、カナダ以外の外国でのプレーの機会があれば、挑戦していきたいと思っています。2012年にU20の女子W杯でカナダ代表として日本にも行きましたが、日本もいいですね！」



Perth Glory FW

Kate Gill

—グランドファイナルをひかえて、今のお気持ちは？

「リーグ戦は、良い結果を収められたので、最後も良い結果で終わりたいですね。決勝戦は楽しみたいです」

—リーグ戦で12得点を挙げ、得点王をほぼ手中に収めていますが、グローリーでの自身の役割は？

「ゴールを決めることだけではなく、若い選手の育成やチームが団結するための働きかけも自分の役割だと思っています」

—マチルダ(女子オーストラリア代表)でも最も経験値の高い選手としてキャプテンを任されていますが、なでしこ(女子日本代表)とは今年のアジアカップで戦っていますね。なでしこについての印象をお聞かせ下さい。

「日本代表は本当に素晴らしいチームだと思います。ボールキープ、技術、ボールのないところでの動きは、世界の基準ともなっています。代表チームの選手で、沢選手や宮間選手とはお友達です。両国はともに尊敬しつつも、いつも接戦になる相手でもありますね」

—決勝戦の意気込み聞かせて下さい。

「もちろん、勝利のみです！」